



2023.9.30

実施報告



1.はじめた経緯

経緯

暮らしのなかに、森がある。あるけど、関わりが少ない。でも、これからはずっと共にある森。どうやって共に生きていくのか、個人的な課題でした。また、町民のみなさんが足を運ぶことが少ない、と感じていました。

森で過ごし、遊びや学びを通して「森とのかかわりしろ」を作ってみる。そして、森に足を運ぶ機会が増えたら、森もひとも、お互いに豊かな未来のために、必要なヒントを見つけることができるかもしれない。

ほか、
大人が楽しめる空間。
大人が楽しむところを見せることが、
子どもに未来をワクワクさせることになるのではないか。



1-2.目的/概要

目的

- ・ 森のなかに楽しい空間をつくる。
- ・ 楽しく過ごすことで、「森とのかかわりしろ」をそれぞれに感じ、持ち帰り、再び「森」へ足を運ぶことに繋げる。

概要

日時 2023年9月30日(土) 昼の部 11:00～16:00
※夜の部 18:00～21:00 (ライブのみ)

場所 ながた自然公園オートキャンプ場

昼の部：入場無料

※夜の部：ライブチケット 2,000円

内容 マルシェ (飲食、物販)
音楽ライブ
ワークショップ



2.出店について

出店者

飲食店：12店舗

物販：7店舗

ワークショップ：4店舗、および実行委員主催





3.ワークショップについて

実行委員会主催

トントゥ（木の妖精）づくり、塗り絵、バードコールづくり



その他主催

ガイドと歩く森、ベンガラ染め、サシェづくり、ロープワーク体験





4. 音楽について

昼の演奏 みのわ太鼓、ヒカル、3年1組、岡只良ジャズバンド、DJによるBGM



夜の演奏 ソラレビ、かむあそうトライブ3



5. そのほかの取り組み

森のシェアライブラリー

小さな本棚と椅子を並べて、憩いの空間づくり。



マイ食器の促進 レンタル食器コーナー

ごみ削減のための取り組みを実施。





5. そのほかの取り組み

森のくつろぎ処

焚火スペース & マシュマロ焼き体験



シャボン玉広場/モルック

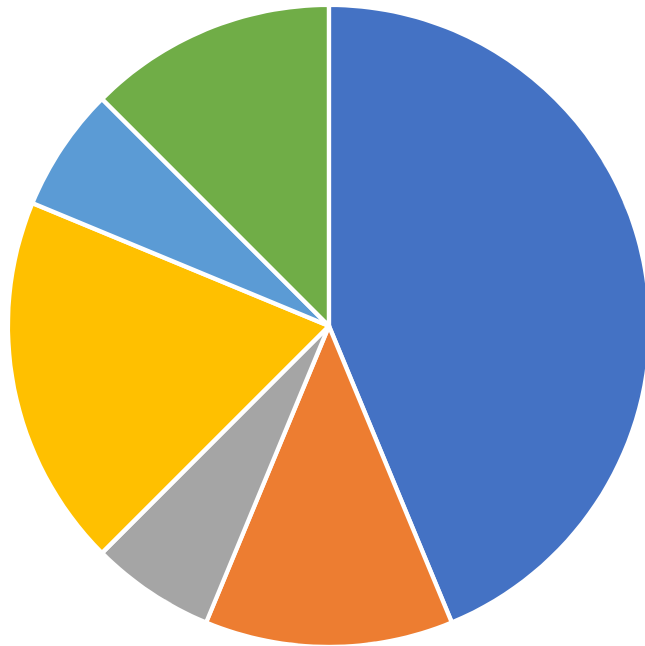
自由にのびのびと遊べるものを





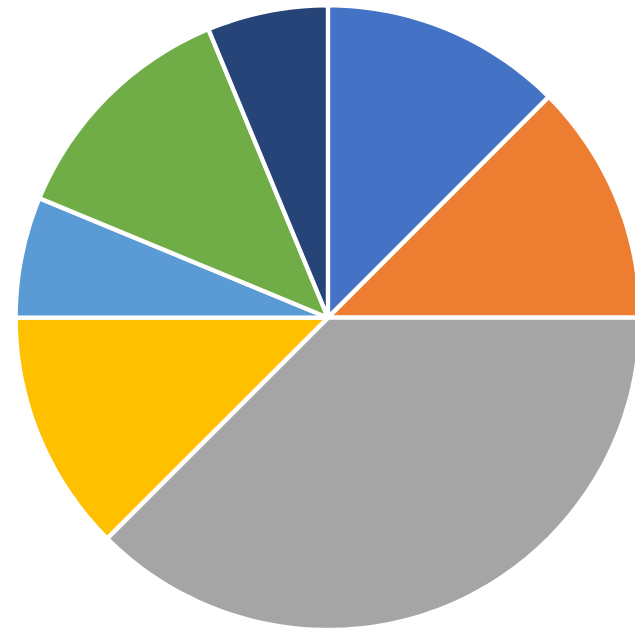
6.参加者の様子

市町村



■ 箕輪町 ■ 辰野町 ■ 南箕輪村 ■ 伊那市 ■ 宮田村 ■ 下諏訪町

年齢



■ 10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代以上

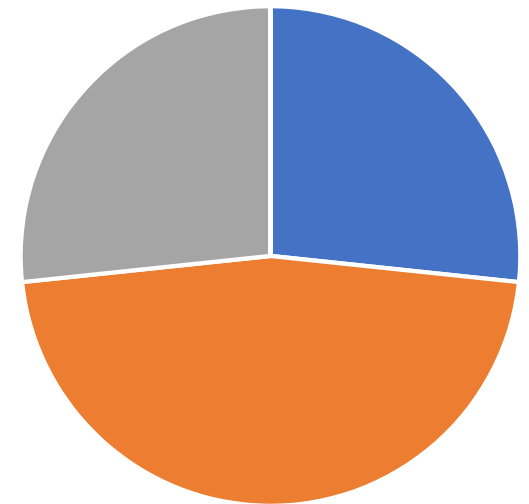


6-2.参加者の声

森で感じたことなど

- ・ 森は気持ちがいい。
- ・ 昼寝したくなる。
- ・ 自然や生き物に触れて癒されました。
- ・ 視界がみどりで溢れて、心地よかったです。
- ・ 自然に触れられてよかった。
- ・ 森に音楽がなっているのがいい。
- ・ 木の良い香りがして、リフレッシュできました。
- ・ お弁当を持ってきて食べるだけでもストレス解消できそう。
- ・ ガイドさんと歩いて、気持ちがよかった。
- ・ キャンプサイトの段差が座ってゆっくりできてよかった。
- ・ 森のライブラリーがよかった。
- ・ お客様の人数がちょうどよかった。
- ・ ワークショップが安くてよかった。
- ・ 虫に刺されるとか、日に焼けるとかで、基本、自然のなかには行きませんが、今回参加してよかったと感じました。
- ・ こういう機会をもっと作ってほしい。

森との関わり



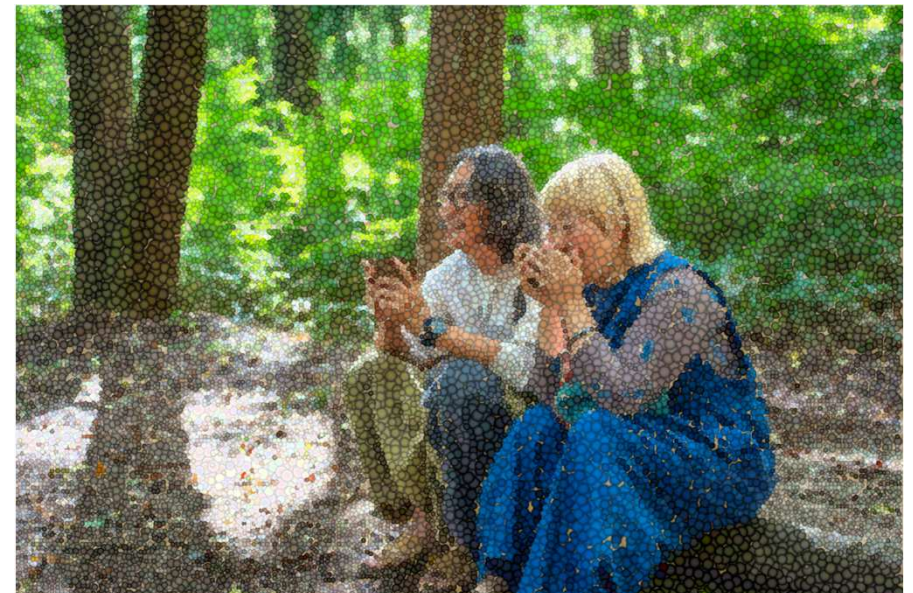
- よくある (週1回程度)
- たまにある (月1回程度)
- あまりない
- 全くない



6-3.参加者の声、過ごし方

森でやってほしいこと

- ・木のいすづくり
- ・子どもたちが森で学び、遊べるプログラム（学校と連携）
- ・自然観察ツアー
- ・フリーマーケット
- ・地域材を活用するクラフト体験
- ・森のアスレチック体験（木登りなど）
- ・木工体験（アクセサリ、キーホルダーなど）
- ・音楽イベント・フェス
- ・昼寝
- ・森のライブラリーのようなもの





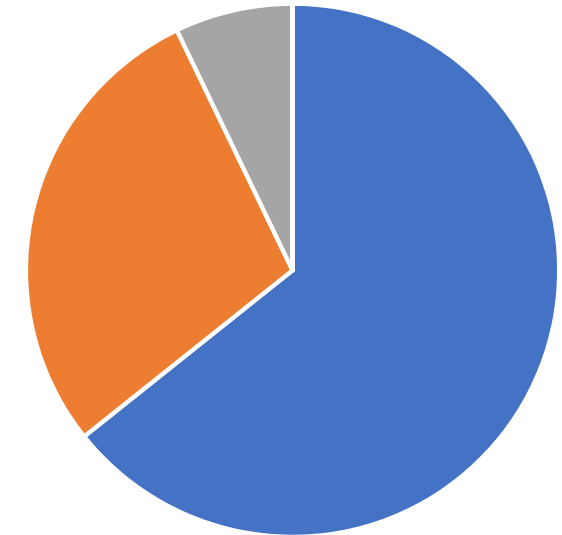
7. 出店者の声

良い点

- ・ 場所の雰囲気がよかった。森のなかで気持ちよかった。
- ・ お客さんもスタッフも、お子さんから高齢の方まで、ゆったり楽しまれているようでよかった。
- ・ イベントをきっかけに、ながた自然公園の良さを知ることができた。
- ・ 出店者の方やお客さんとの交流ができてよかった。



満足度



■ 5 良い
■ 4
■ 3 ふつう
■ 2

改善点

- ・ これからも継続して地域に根差したイベントにしてほしい。
- ・ 1日だけではもったいないので、2日間とかできればよい。
- ・ 雑貨類（クラフト）の出店数をもっと増やしてほしい。
- ・ テントや机の貸し出しがありがたい。



8.参加者数、売上など



参加者数

およそ400人

※正式に数えることができなかったため、駐車場の様子や飲食店さんの販売数より換算

売上

- ・生ビール・缶ビール販売
 - ・ワークショップ
(バードコール、トントウづくり)
 - ・夜のライブ料金
- 会場貸切料、ライブ出演料など費用面でマイナスですが、協賛金により補うことができました。





9.よかったところ、改善点

アンケートをもとに、実行委員会での振り返りを行いました。

よかったところ

- 森というポテンシャルを生かして、居心地と雰囲気の良い空間づくりができた。
- 普段町民もなかなか行かないながたの森に行く機会を作り、その魅力を伝えられた。
- 箕輪町以外の出店者も多く、それにより箕輪町以外からの参加者も多かった。
- 駐車場はあふれることなく駐車することができた。
- ウォーキングツアーのお客さんもいたこともあり、ほぼすべての店舗が売り切れだった。

今後の改善点

- 木登りや薪割など、森の体験をもっとしたいという意見があった。より森を身近に感じられるワークショップがあると良かった。
- 夜の音楽演奏で時間を超えてしまったため、警察に注意を受けた。音量や時間などにより注意を払うべきだった。
- 出店だけでなく森に関する展示などもあっても面白かったかもしれない。
- 会場内の案内表示の工夫が必要。
- 多目的トイレを施錠したままにしていた。



10. 森との関わりしろ

“「森とひと」での過ごし方は、自由”

たとえば...食事のできる椅子やテーブルない
→参加者さんが自分で座る場所を見つけるなど

それぞれの過ごし方をしている様子があった



関わりしろは、たくさんある。きっかけがないだけ、と感じた。

自分が楽しめそうなことであれば足が向く

→「基本、森に行かない人が来てよかった」という感想あり。

きっかけを増やして、森に足を運ぶことができれば、そこで何かを感じ、自分の近くにある森や環境のことを考えることに繋がるのではないか。仕掛けが必要？！



11.来年に向けて

- ・開催の時期は○
- ・今年は開催することで精一杯だったため、参加者さん、出店者さん、スタッフ含め、関わるひとが楽しめる、森と関わりがつかれる、仕掛けづくりを深めていきたい。
- ・継続してやっていくことで、森とひと、との関わりに何か変化を起こすことができるか見てみたい。
- ・早めに準備をはじめめる。

※課題：資金、スタッフ（仲間づくり）、
運営方法

